

令和4年3月16日

国立市議会議長 青木 健 様

提出者 遠藤 直弘

〃 重松 朋宏

〃 高原 幸雄

〃 小口 俊明

〃 藤江 竜三

〃 稗田 美菜子

〃 上村 和子

議案の提出について

議員提出第 2 号議案

デフリンピック 2025 東京開催を求める意見書（案）

上記の議案を次のとおり、地方自治法第99条及び会議規則第13条の規定により提出します。

デフリンピック 2025 東京開催を求める意見書（案）

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が全国民に感動を与えて終了しました。パラリンピックの次は、聴覚しょうがいしゃの国際スポーツ大会「デフリンピックを東京で！」という招致に向けて取組が始まっています。

パラリンピックを超える歴史を持つ大きな規模の聴覚しょうがいしゃイベントの開催により、聴覚しょうがいしゃへの理解と社会参加が一段と進むだけでなく、情報アクセシビリティの充実による東京の共生社会構築に寄与することが期待されています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシー活用、首都としての国際的な知名度、多くのスタッフやボランティアの動員実績など、日本で初めてのデフリンピック開催は東京が適任であり、経済効果も期待できます。

国立市は「国立市誰もがあたりまえに暮らすまちにするための『しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言』の条例」を制定しています。国立市議会基本条例において、ソーシャルインクルージョンの理念に配慮することを明記している国立市議会として、2025 年デフリンピックを東京で開催することを求めます。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出するものである。

令和 4 年 3 月 日

東京都国立市議会

提出先 東京都知事